

履 歴 書

森 一久（もり かずひさ）

大正15年1月17日生（1926年）

出 生 広島市

現住所 〒251-0027 神奈川県藤沢市鵠沼桜が岡1-5-20

学 歴

昭和19年 9月 広島高等学校理科卒

昭和23年 3月 京都大学理学部物理学科卒

職 歴

昭和23年 4月 中央公論社入社

昭和31年 4月 電源開発(株)入社

昭和40年 3月 同 社 退職

昭和31年 5月 (社)日本原子力産業会議入社（40年3月までは兼務）

昭和38年-40年 東京12チャンネル（テレビ東京）編成部長（兼務）

昭和44年 4月 (社)日本原子力産業会議 事務局長

昭和53年 6月 同 専務理事

平成 8年 6月 同 副会長

兼 職

(財)日本原子力文化振興財団 副理事長

(財)原子力安全研究協会 理事

(財)温水養魚開発協会 常務理事

(財)海洋生物環境研究所 評議員

(財)第五福竜丸平和協会 評議員

(社)学士会 評議員

(財)湯川記念財団 評議員

その他

賞

仏国 グラン・ド・シュバリエ・ド・ロード・デ・メリット勲章（1971年）

韓国 大韓民国国民勲章 石榴（ざくろ）章（1997年）

以 上

<その他>

本：

原子力発電の経済的影響（ 1954年、訳）（東洋経済新報社）

原子力発電（ 1957年、訳）（岩波新書）

原子力にルネサンスをー歴史からの未来へのカギー（1997年）

寄稿：

日本原子力学会誌（Vol. 37, No. 9, 1995）へ「原爆体験と日本の原子力開発」を寄稿

月刊エネルギーレビュー誌へ

「原子力ー今、本音で語る時ー30回記念原産大会の自己点検」を寄稿 等

テレビ出演：朝日ニュースター「ザ・ディベート」へ出演

<プルトニウム利用に未来はあるか>

本：

原子力発電の経済的影響（ 1954年、訳）（東洋経済新報社）

湯川 秀樹序、森 一久訳 昭和29年11月

シュアー． J． シャック著

原子力発電（ 1957年、訳）（岩波新書）

伏見 康治、森 一久、末田 守 共訳

K. ジェイ 著 昭和32年4月

原子力にルネサンスをー歴史からの未来へのカギー（1997年）

公 職

原子力委員会 専門委員

原子力安全委員会 専門委員

科学技術庁 国際問題検討会委員 他

通商産業省 高い放射性廃棄物処分対策委員会委員

その他

公 職（詳細）

（原子力委員会）

核燃料リサイクル専門部会 委員

放射性廃棄物対策専門部会 委員

放射性廃棄物対策専門部会総合計画委員会 委員

核種分離・消滅処理技術研究推進委員会 委員

放射線利用専門部会 委員

基盤技術推進専門部会 委員

（原子力安全委員会）

原子炉施設解体安全専門部会 委員

（科学技術庁）

保障措置問題検討会 委員

国際問題検討会 委員

放射線医学に係わる日ソ科学技術協力国内連絡委員会 委員

（通商産業省・資源庁）

高い放射性廃棄物処分対策委員会 委員

その他役員・委員

動力炉・核燃料開発事業団 参与

地層処分研究開発懇談会 委員

日本原子力研究所

放射線照射利用研究委員会 委員

原子力安全研究協会 理事

企画懇談会 委員

環境問題懇談会 委員

H L W処分対策専門委員会 委員

日本原子力文化振興財団 副理事長

日本原子力学会 「新型原子力プラントの設計と安全」国際会議運営委員会 委員

原子力安全技術センター	理事
原子力施設デコミッションナ研究協会	理事
エネルギー総合推進委員会	
日米エネルギー関係特別委員会	委員
中東調査会	委員
核物質管理学会	理事
核物質管理センター	理事
火力原子力発電技術協会 原子力発電安全月間推進委員会	委員
第三者検査機構研究会 運営委員会	委員
電力経済研究所	常務理事
日本動力協会 企画委員会	委員
日本分析センター	評議員
放射線影響協会	理事
放射線障害防止中央協議会	理事
茨城県原子力協議会	理事
アジア人口開発協会	理事
エネルギー-懇話会(次世代懇話会)	理事
温水養魚開発協会	常務理事
海洋生物環境研究所	評議員
環境科学技術研究所	理事
新エネルギー財団 新エネルギー-産業シナジー実行委員会	委員
第五福竜丸平和協会	評議員
地球化学研究協会	理事
地球産業文化研究所 日米環境会議	日本側委員
電源地域振興センター	評議員
未踏科学技術協会	理事
未踏加工技術協会	監事
湯川記念財団	評議員
リンクス・リセウム	理事
運営委員会	委員